

大きな波、 大きな山場

大きな波、 大きな山場

—34周年を迎えて—

まほろばが、何故34年もの間、やって来られたか。

その骨組みの一つ、大きな一つに、市場仕入れがありました。

多くの人たちが、そして誰よりも私達夫婦が当時、何故市場から仕入れなければ？と驚いたのです。

それは、常識というか、世間の目というか、業界の判断というか、普通有り得ない行動に出て、当然、批判は市内から全国から、猛烈に私たちに降り注ぎ、刺さって来ました。

明に暗に、この非難轟轟たる嵐には、大橋店長をして市場に仕入れに行くことが辛いと、私たちに訴えたものでした。それほど、長年、信念を貫くことは耐えがたいものでした。

しかし、この常識を打ち破ることに、何の躊躇もなかったのです。

0-1テストをすると、市場仕入れが、最も良い物に出会う機会が多かったからです。

0-1テストは、ラベルでなく、レベルを選んでいたのでした。

私たちは、無名無冠ノーマークでも、レッテルを選ばなかったのです。

何故かは、後々になって判明することになりました。

それは、現在進行形で営農することにより、自然も有機も慣行も、その思想や実践を超えて、作物の本質、自然の背景を知るようになって来たからです。

あらゆる物の既成概念に囚われず、物事の奥に潜む、真理と実相をダイレクトに掴み取ることでした。

それは、一言でいえば、「イノチ」そのものです。

その背景には、形には現れない、見えない膨大な情報が詰まっているからです。

それは人智・世間智では到底、判断推測出来るものではありません。

0-1テストを信じ、それに懸けている我々にとって、世間の目を撥ね退けるエネルギーがありました。そして、その耐え忍んだ実績の上に、数々の信じられないオリジナル商品を生み、さらには、0-1テスト農法まで、生み出して来たのです。

そうして、今、何事にも縛られない自在な心で、再びと内側を見詰め直そうとしています。

それが、手元足元の商品の全面的な見直しです。

今、権威も伝統も新規も伏せて、全商品を細大漏らさず、洗い直している所です。

自然食業界の常識や通念というものを度外視して、もう一度「イノチ」の眼で、その物そのままを見つめ直そうとしています。

これまた、内外の非難批判を受けるかもしれません。

しかし、人間、ありのままの真実をどれほど知っているのでしょうか。

もう一步、この当たり前と思って来た囚われを外して、初心な眼でもう一度、真相を見詰めたいのです。

必ずや新たな発見と独自の世界観が開かれると信じています。

今、轟音の余市川が水嵩を増して、こちらに迫っているように、大きな氾濫（混乱）が襲うかもしれない。余りにも商品が入れ替わって、戸惑われるかもしれません。

しかし、時と共に、生産者もメーカーさんも、問屋さんも世代交代します。また、次々

と、より良い新しい物も生まれて来ています。万物は、生々流転しているのです。

心も、場も、時も、移ろい行き、流れ易いのです。すべては、去来します。

その結果、取り扱い商品の代わり行く理由を、一つ一つお客様にご説明できない場合もあると思います。止める理由を憚れる場合もあるからです。どうか、その所を、ご理解戴き、勇気を鼓して新たに脱皮するまほろばに、ご協力頂ければ有難く存じます。

そんな、大きな第二の波、第二の山場が、今来ております。

来年晴れて35周年の大きな節目を迎えます。

今から準備万端整えて参りたいと存じます。

これまで盤石な一枚岩で、まほろばを支えて来てくれたスタッフ一同の献身的な心と働きに感謝致します。経営者が田舎に引っ込んで営農する留守の所を、責任を一心に引き受けて、日々必死に果敢に頑張ってくれています。至らない乍らも、日本一のスタッフだと、自負しております。褒めて上げて下さい。

そして、この長きにわたり、まほろばのお客様の倦むもせず飽きもせず、一途にご愛顧を戴きましたこと、紙面を借りて心より御礼を申し上げます。

さらになお、引き続いてのご支援、ご指導賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

これを以て、34周年のご挨拶に代えさせて頂きたいと思っております。

誠に、ありがとうございました。

合掌

2018年7月6日